

2015年 2月 9日

【新製品】W3600P シリーズを発売開始

オイルバリアタイプ シリンダーベッド型偏平縫いミシン

ペガサスミシン製造株式会社(本社:大阪市福島区、代表取締役社長:清水盛明)は、「オイルバリアタイプ 2、3本針シリンダーベッド型偏平縫いミシン W3600Pシリーズ」を2015年2月12日より日本国内にて先行発売いたします。

新機種 W3600Pシリーズは針棒、及びルーパー軸に最新形状のオイルシールを装備した、オイルバリアタイプのミシンです。安定した給油と高いオイルバリア効果で、大切な縫製品を油汚れから守ります。また、「タイトな縫い目」と「ソフトな縫い目」を簡単に切り替えることができる、特許出願中の当社独自の機構を採用しているため、様々な縫製アイテムに対応できます。

操作性、安全性、メンテナンス性をユーザー目線で考え、細部にまでこだわったモデルです。

新機種 W3600Pシリーズの概要は下記の通りです。

■ 製品概要

W3600Pシリーズ: オイルバリアタイプ シリンダーベッド型偏平縫いミシン

〈共通仕様〉

縫い目長さの調節: プッシュボタン式

差動比の調節: インターミテントレバー式

最高回転数: 6,000 sti/min

※サブクラス、使用条件により異なります。

給油方式: オイルバリアタイプ完全自動給油



W3600P シリーズ

■ 主な特徴

* 油汚れ、シャットアウト

- ・「針棒」及び「ルーパー軸」に最新形状のオイルシールを装備することで、絶大なるオイルバリア効果を発揮。油漏れ、油飛びのトラブルを防止します。
- ・縫製品の油汚れが減ることで、染み抜き作業に使われる溶剤の使用量を削減できます。作業者の健康と地球環境の維持にも貢献します。

* 筒物縫製に最適のシリンダーベッド

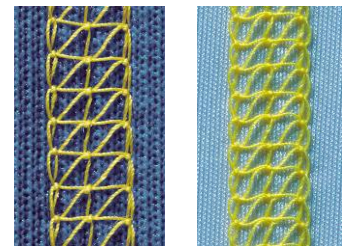
- ・子ども服の首回りなどの筒物工程も、ラクな生地捌きでスムーズに縫えます。ニット製品の筒物工程にマッチした充実のサブクラスです。

* ユーザーフレンドリーな最新機構

- ・新針糸捌き機構の採用により、「タイトな縫い目」と「ソフトな縫い目」を簡単に切り替えることができます(特許出願中)。また、針棒ストロークも変更できるため、極薄物から厚物まで、多種多様な縫製アイテムに対応します。
- ・従来よりも下糸繰り台が手前にあるため、ルーパーへの糸通しが更に簡単です。

* イージーメンテナンス

- ・脱着式下糸繰りの採用により、万が一のトラブルでもメンテナンスが簡単に行えます。取付け位置は再現性があり、調整は不要です。
- ・オイルパンの底面にもドレン穴があり、ミシンをテーブルに設置したまま、油抜き作業が行えます。



詳しくは製品カタログをご覧ください。

■ 発売日

2015年2月12日（日本国内 先行発売）

※ 上記に記載している製品の特徴や仕様などは、改良のため予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ先】

リリースに関して： ペガサスマシン製造株式会社 管理本部 総務部 / TEL: 06-6451-1351

製品に関して： ペガサスマシン製造株式会社 顧客本部 販売部 / TEL: 06-6458-4739